

各イベント開催内容

10/28

県民と働く者のとくしまフェスタ2017開会式典&第10回わーくびあフェスタ

と き 10月28日(土) 10:00~15:00
と ころ ヒューマンわーくびあ徳島全館
主 催 公益社団法人徳島県労働者福祉協議会、県民と働く者のとくしまフェスタ実行委員会
問合せ先 ☎088-625-8387
参加費 無料
参加人数 開会式典150名、わーくびあフェスタ200名
概 要 素人のど自慢、夏川寿里亜歌謡ショー、福祉事業団体出店



主催者挨拶



オープニングアクト 『みさと笛の会』の演奏



素人のど自慢大会

[来賓]
徳島県 後藤田 博 副知事
徳島市 平山 元 第一副市長
徳島労働局 笠田 隆博 総務部長



☎ 夏川寿里亜歌謡ショー

開会式典は、「みさと笛の会」の心に染み入る音色で幕を開け、主催者挨拶に続き、後藤田博徳島県副知事をはじめ、平山元徳島市第一副市長、鈴木麻里子徳島労働局長の代理として笠田隆博総務部長からご来賓挨拶をいただきました。そのあと開会宣言を行い、第10回わーくびあフェスタ「素人のど自慢大会」に移りました。

のど自慢大会では、25歳から94歳までの48組の方々が、この日のためにと趣向を凝らした衣装に身を包み、練習を重ねた歌の数々を思いを込めて熱唱され、200人程の観客から大きな拍手を浴びていました。

午前の部と午後の部をはさんで、審査員長の夏川寿里亜先生の歌謡ショーが開催され、芸能生活51年の年輪を感じる胸に響く歌声に皆、聴き入っていました。

出店くださったNPO、福祉事業団体が用意したお弁当や、おでん、焼きそば、サン

ドイッチなどの食べ物や、産直野菜や果物もお昼過ぎには完売し、団体の皆様も大変喜んでくださいました。

参加者の皆様のアンケートからは、「司会者が楽しく皆さん楽しそうに歌っていた」「和気あいあいとした中で心があたたかくなりました」「1日楽しかった。身体の痛みも忘れられました。ありがとうございました♡」「夏川先生の歌謡ショーが良かったです」など、主催者冥利に尽きるうれしい感想をいただきました。

《素人のど自慢大会 結果》

優勝 朝田美紀子 準優勝 伊喜利初枝 第3位 内田 耕二



表彰式

10/28

あい♡あいファミサポフェスティバル2017

と き 10月28日(土) 10:00~13:00

と ころ 徳島市総合動植物公園とくしま動物園

主 催 公益財団法人徳島県勤労者福祉ネットワーク
県民と働く者のとくしまフェスタ実行委員会

問合せ先 ☎088-655-2940

参加費 無料

参加人数 約800名

概要 山々が紅葉で色づき始め、行楽によい季節となりましたが、台風の接近で小雨が降る天候ではありましたが、総合動植物公園とくしま動物園で「あい♡あいファミサポフェスティバル2017」を開催いたしました。当日は小雨の影響か出足が遅くなったものの、参加人数は、NW・SC・FSC会員で276名、パスポート購入での入場者69名、子ども約200名と総勢で約800名を超える入園者となりました。

ピクニック広場では、各ファミサポが工夫を凝らしたスタンプラリーのブースを広場に集約し、小さなお子様も全て回ってお菓子をゲットするなど楽しめるようにしました。



入口受付



受付を待つ参加者



ステージ

各ブースでは、ファミサポスタッフが手作りのゲームを設け、ゲームを楽しむ親子の大きな笑い声にスタッフも楽しいひと時を味わうことができました。また、広場特設ステージでは「渦戦士エディショー」を午前・午後の2部上演し、子ども達は大きな声援をおくり大迫力のアクションに見入っていました。毎年参加される方からは、「小さな子どもが楽しめるイベントなので楽しかった」とお褒めの言葉もいただき、楽しく過ごしていただいた一日となりました。



渦戦士エディショー



ブースでゲームを楽しむ親子



射的ゲームを楽しむ親子

11/10

2017「たんけんの秋」

と き 11月10日(金) 8:00~18:00
 と ころ 上勝町・小松島市
 主 催 徳島県退職者連合
 共 催 四国労働金庫
 問合せ先 ☎088-655-4105
 参加費 2,000円
 参加人数 28名
 概 要



徳島県退職者連合は、「県民と働く者のとくしまフェスタ2017」行事の一環として「たんけんの秋」を計画し、秋の山里を「ゆとりとうるおい」をもって散策することにしました。天気にも恵まれ午前8時、徳島駅を出発し一路、上勝町殿河内溪谷をめざしました。10過ぎに到着し参加者は、紅葉の溪谷を觀賞しながらゆったりと溪谷に沿って散策しました。百間滝も遊歩道にそって歩きました。百間滝は、今年は水量も多くまさに壮観そのものでした。昼食は月ヶ谷温泉で取り、午後14時に出発し四国霊場恩山寺へ向かいました。恩山寺では、それぞれが願いをこめて本堂・大師堂を参拝しました。小松島市の中心から少し離れた里山にある恩山寺は緑に包まれた寺院でした。秋の山里、神聖な霊場巡りの楽しい一日をすごしました。

11/18

第22回自然とふれあう健康ウォーク in 美波

と き 11月18日(土) 9:00~12:00
 と ころ 美波町 竜宮公園(日和佐総合体育館)
 主 催 徳島南部ライフサポートセンター
 共 催 全労済徳島推進本部、四国労働金庫阿南支店、連合徳島南部地域協議会
 問合せ先 ☎0884-24-9501
 参加費 無料

参加人数 250名

概要 ◎雨の中、250人余りの方々に参加していただき一緒に楽しい休日を過ごしました。



すべての県民の皆さんが、生活にゆとりを持ち、充実した自由な時間と潤いのある生活を送る為の余暇推進事業「県民と働く者のとくしまフェスタ」の一環として阿南・那賀・海部地区恒例の「自然とふれあう健康ウォーク」が今年も美波町において計画されましたが、あいにく夜明け前からの雨が一向にやむ気配がなく、急遽日和佐総合体育館での『ゲーム大会』に変更して、「宝探し」「〇×クイズ」「ジャンケン大会」を行いました。各ゲーム、最後まで残った数人の方にあとで行う大抽選会の抽選券を賞品としてさしあげ、大いに盛り上がりました。

1時間にわたるゲーム大会で会場がすっかりヒートアップしたところで、いよいよ大抽選会に移りました。MC宮田義文さん（JP）が参加者の老若男女を興奮と笑いの渦に巻き込んで大盛り上がり。

そして会場が歓声とため息が混じる熱気に包まれた中で、イベントは午後0時前に終了しました。



今年もご当地の「エビー太」と、阿南から「あななん」が来てくれ、抱きついたりツーショットの写真を撮ったり、全労済による「防災カフェ」の試食も、子どもたちに大人気でした。

休日のひととき、皆さんと楽しいひと時を過ごすことが出来ました。



11/18

キウイ収穫体験祭り

と き 11月18日（土）10:30～

と ころ 佐那河内村果樹オーナー「キウイ園」

主 催 徳島中央ライフサポートセンター

協 賛 県民と働く者のとくしまフェスタ実行委員会、徳島県労働者福祉協議会
四国労働金庫徳島営業本部

問合せ先 ☎088-623-4105

参加費 一人300円

参加人数 103名（幼児、スタッフ含む）

概要 「県民と働く者のとくしまフェスタ2017」の一環として、県民の皆さんが家族やグループで楽しめる「キウイ収穫体験祭り」を行いました。

9月13日（水）から10月13日（金）まで当センターのホームページや電話で体験者の募集を行い、募集人員100名のところ164グループ438名の応募がありました。10月18日（水）厳正な抽選を行い40組107名の当選者を決定しました。

11月18日（土）の当日は、雨が前日から降り続き早朝は大雨模様でした。この為、参加者の方々からは開催を心配し沢山の電話がありました。開催時間には雨も上がり安堵したところ。参加者の方々、天気を観て出発してこられたのか、遅れて来る方、不参加の方等様々でしたが、103名（幼児、スタッフ含む）と多くの

方に参加頂きました。オープニング式では、徳島中央ライフサポートセンター宮本会長から「徳島中央ライフサポートセンターは、地域の方々をサポートする地域福祉の拠点として活動を行っています。キウイ収穫祭りも行事の一つです。ただ、誰が悪いのでしょうか？また、雨の天気で開催となりました。キウイ園はぬかるんでいます。滑って怪我をしないように、キウイ園の上のほうまで行って籠一杯にキウイを採ってください。」とのあいさつの後、「キウイ収穫体験祭り」が始まりました。キウイ園の上のほうが大きくて多くのキウイが生っていることから、参加者の皆さんは、キウイ園の上のほうから入園し、大きなキウイや沢山生っているキウイの木の下へ。小さな子どもたちは、保護者の方に抱えられ一生懸命キウイを摘んでいました。籠が一杯になると神社の前で持ち帰りのビニール袋にキウイを詰めます。山盛りにしてキウイがゴロゴロ落ちる人も。

持ち帰り準備の出来た方々は、試食用キウイの味見や、スピードくじを引き景品を受取ると、三々五々解散し「キウイ収穫体験祭り」を終了しました。参加者の皆様お疲れ様でした。また、当日は、雨の残る天候にも関わりませず、ご協力頂きました、園主の方々、スタッフの皆様ありがとうございました。



11 / 12

ゆとり・癒しのウォーキング ―紅葉と温泉の祖谷溪谷―

と き 11月12日（日）8：00～18：00
 と ころ 三好市池田町・西祖谷山村
 主 催 徳島西部ライフサポートセンター
 共 催 連合徳島西部地域協議会、四国労働金庫池田支店・
 鴨島支店、全労済徳島推進本部
 協 力 三好市
 問合せ先 ☎0883-72-8611
 参加費 無料
 参加人数 99名
 概 要



第11回目を迎えるゆとり・癒しのウォーキングは、ちょうど紅葉の見頃で天気も良く、絶好のウォーキング日和となりました。

数日前に祖谷の紅葉が新聞に掲載されたことも影響するのか、交通量が大変多く、池田を出発してからウォーキングコースのスタート地点に着くまでに時間がかかりましたが、バスから見える祖谷の秋の景色に参加者の方々も見入っていました。

ウォーキングは10kmコースと3kmコースがあります。ウォーキング途中で紅葉の写真を撮ったり、風で落ち葉が舞う中どんぐり拾いをしたり、また子ども用に設けたアンパンマンシールの看板を見つけると走って駆け寄っていく子どもたちの姿もありました。

ゴール後は、かずら橋や周辺の散策、モノライダーや温泉などで



楽しんでいただきました。人出が多く、モノライダーには行列ができていたり、かざら橋を渡ることができなかった参加者もいたようですが、ススキやどんぐりなど秋の植物で遊ぶ子どもたちや、家族で温泉を満喫していただいたりと、みなさんそれぞれに秋の祖谷を楽しんでもらえたことと思います。

11/24

第25回労働者福祉メーデー

と き 11月24日(金) 14:00~16:30
と ころ 徳島グランヴィリオホテル
主 催 徳島県労働者福祉協議会
県民と働く者のとくしまフェスタ実行委員会
問合せ先 ☎088-625-8387
参加費 無料
参加人数 40名
概 要 *基調講演:「労働運動と労働者自主福祉運動のこれから
～次世代を担う役員に寄せる期待～」



講 師: 連合総合生活開発研究所 理事長 古賀 伸明 氏

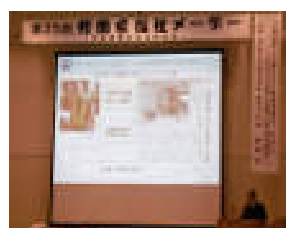
- (1) グローバリゼーションの激化と新たな枠組みの模索について
グローバルなリスクの拡散と日本社会の持続可能性や世界が模索する新たな枠組みのキーワードの考察
- (2) 労働運動と労働者自主福祉事業の連帯の再構築について
労働者自主福祉事業の歴史や全労済と労働金庫や協同組合の組織についての考察および労働運動と労働者自主福祉事業の課題についての考察
- (3) 「働くこと」を考える
働くということについて「労働の尊厳」や底上げと所得再分配機能の強化で厚みのある中間層の再生や人が生きる仕組みについての考察
- (4) これまでの拙い経験から学んだこと
キーワードは、深い意味での楽しく・エンジョイである。
「漫然と迎える」から「主体性を持った新たな創造・築く」未来へ。

*労働者福祉団体からの推進活動の報告について

- (1) ワーカーズコープの取り組みについて
川上 健太ワーカーズコープ四国エリアマネージャー
- (2) 公益財団法人徳島県勤労者福祉ネットワーク
杉本 友好専務理事

*第25回労働者福祉メーデー宣言採択

提案: 林 善章徳島労福協専務理事



2018/3/11

2018ふれあいファミリーデー

と き 3月11日(日) 10:30~15:30
と ころ あすたむらんど徳島
主 催 県民と働く者のとくしまフェスタ実行委員会
共 催 あすたむらんど徳島
問合せ先 ☎088-625-4105
参加費 無料
参加人数 1,300名(あすたむらんど徳島入場者数5,022人)
概 要 <午前の部>



- | | |
|-----------------------|---------|
| ①開会挨拶 | 10時30分~ |
| ②連合徳島の取り組み | 10時40分~ |
| ③震災復興支援大抽選会 | 10時50分~ |
| ④キャラクターショー(仮面ライダービルド) | 11時30分~ |
| ⑤キャラクターとの写真撮影会 | 12時00分~ |

<午後の部>

- | | |
|-----------------------|---------|
| ①開会挨拶 | 13時30分~ |
| ②連合徳島の取り組み | 13時40分~ |
| ③震災復興支援大抽選会 | 13時50分~ |
| ④キャラクターショー(仮面ライダービルド) | 14時30分~ |
| ⑤キャラクターとの写真撮影会 | 15時00分~ |

連合徳島、徳島県春闘共闘会議は、県民と働く者のフェスタの事業として、「2018ふれあいファミリーデー」を開催し、連合徳島各構成組織の組合員や家族など約1,300人が参加した。仮面ライダービルドショーでは、待ちわびた大勢の子どもたちの歓声が満天の青空に響き渡り、写真撮影会には長蛇の列ができた。

午後14時46分、7年前の3月11日、東日本大震災の大津波で亡くなられた方々のご冥福を祈り参加者全員で黙祷を捧げた。

震災復興支援大抽選会では、宮城、福島、岩手、熊本の物産品を賞品として、午前と午後の当選者105人に手渡された。開催会場では、「STOP!長時間労働」のアンケート調査を呼びかけるとともに、労働・生活相談窓口の設置や女性委員会、青年委員会による綿菓子、ドリンクの販売等も行い、多くの参加者で賑わった。



11月19日(日)は家族の日

11月12日(日)~25日(土)は家族の週間